

---

# 惚れ惚れスプレー！！

操りフェチ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

IJのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

惚れ惚れスプレー！！

### 【Zコード】

Z3351BA

### 【作者名】

操りフェチ

### 【あらすじ】

よしおは謎の男からどんな女も一瞬で落とせるという、『惚れ惚れスプレー』を手に入れ、さっそくよしおの身近な女性に使っていくことに…！

公園を出るよしお、ちょうど隣に綺麗な女性（恵）が近づいてきて、彼女にシュット一吹きしてみたら・・・なんと、効果は本物

！！！

この道具を使って、辞めさせられた会社の女性はもちろん、コンビニやメイド喫茶、果ては自分の家族までも我がモノに落としていく

果たしてよしおの目的はなんなのか？これから始まる素晴らしいストーリーをお楽しみ下さい！！！！

主人公のよしおは30代半ばのサラリーマン。ある日、『仕事の能率が上がらないから』たったそれだけを理由に会社をクビにされてしまつ・・・。

よしお：「はああ・・・。これから先、オレビツなつぢやうのかなあ？」

よしおは落ち込んでいた。30代半ばと云ふば、ちょうど課長ぐらひまで上がつてくるであろうに・・・。これから先、途方もない人生を送つていくしかないのだろうか？ そう思いながら公園のベンチで座つてため息を付いてると・・・、

謎の男：「おや？ 元気がないですね～？」と、話しかけられる。

よしお：「実は・・・。」

よしおは謎の男からの質問に、違和感を抱きながらも答えていく。すると、彼の口から・・・。

謎の男：「そんなアナタに、立派なアイテムがありますよ～！」

よしお：「何ですか？ 那は？」

謎の男：「惚れ惚れスプレー！ まあ、通称惚れ薬ですね。」

よしお：「そんなのが、何の役に立つんだよ～！」

謎の男：「まあ見てなさいって。」

謎の男は、スプレーをよしおの隣で座つていた美女に、シューっと吹きかけた。

するとどうだか？ ・・・。スプレーを吹きかけた女性は謎の男に寄り添い・・・、

女性A：「はあ～ン。好き～！ 今すぐアナタと付き合いた～い！ ～！」

と、言い出すではないか

よしお：「マ、マジかよ・・・。こんな事があるなんて！ ～！」

謎の男：「これをアナタに差し上げます。ぜひ、使って下さ～！」で

わ、私はこれで・・・」

謎の男はよしおにスプレーを渡すと、やつを惚れさせた女性とともに、その場を立ち去った。

よしお：「どうやらこれは、本物みたいだなーでも、まざちゅんと効くかテストしなければ。」

よしおは、さつき謎の男がよしおの田の前で見せたにも関わらず、戸惑っていた。

スプレーを持ち、公園を後にするよしお。ふと横を見ると、また、綺麗な人が歩いていた。

(可愛いなあ・・・ちょっと試してみるか!)

よしお：「あの、ちょっとすみません・・・。」

恵：「なんですか~?」

よしお：「顔になんかついてるみたいなんですが、とつていただけませんか?」

恵：「ええ?顔?」

シュー!!

よしおは「!!」をひとつともひつもつりで、女性に話しかけ隙をついてスプレーを吹く!!

すると・・・、

恵：「はあ~ん、大好き・・・。」

よしお：「おお!成功だ・・・!ホントに僕の事好き?」

恵：「うん。大好きよ~!!」

よしおの女性たちへの復讐が、今、始まった!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3351ba/>

---

惚れ惚れスプレー！！

2012年1月8日18時46分発行